

第29回女性部大会に参加して

11月13日（金）夜に開催された女性部大会へ初めて参加しました（ピンチヒッターで）。我が職場は女性職員数は多いものの、組合員となるとごく少数派です。女性部大会ではまず、こんなに女性組合員の方がいらっしゃるんだ！と驚き感激しました。

普段から角間キャンパスに足を踏み入れることはあまりないので、恐る恐る参加しましたが、いろいろな立場の方々のお話をうかがうことで自分の職場環境を客観的に見ることができたのは大きな収穫でした。こんなものだ、しょうがないと思っていたことが、実はそうではなかったり……。終始アットホームな雰囲気の中で議事は進み、すっかり緊張のゆるんだ私の発言にも皆さん真剣に耳を傾けてくださり、暖かい励ましまでもいただきありがとうございました。また、今回はなにもわからずに参加してしまいました。次回はもう少し勉強して……。とひそかに自分に誓いました。角間が少し近くなったような気がしています。(R)



女性部から新年度のご挨拶

女性部長 数見（かずみ）由紀子
（外国語教育研究センター）

2009年度も引き続き、女性部の部長を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしく願いいたします。今年度も、女性教職員が「心身ともに健康で快適に働ける環境づくり」を活動方針として、みなさまのご助言・ご協力をいただきながら、さまざまな課題に取り組みたいと考えています。

この場をお借りして、お願いがございます。近年、金沢大学教職員組合の構成員数が急速に減少しています。大学においては賃金や労働条件をめぐる問題が続出し、教職員組合は力を尽くして大学側へ要求・交渉を行っていますが、組織率の低い組合の主張は、それだけで説得力を欠く可能性があります。どうか、未組合員の方々にこれまで以上にお声をおかけくださり、お一人でも多くの方々の加入により、そのお智慧とお力を組合に集めていただけますよう、心よりお願い申し上げます。



女性部新役員の紹介

部長	数見由紀子
副部長	黒田直美
副部長	杉橋やよい
役員	荒木友希子
〃	菅谷内樹子
〃	杉田真衣
〃	都野展子
〃	土井妙子
〃	綿引伴子
オブサーバー	趙菁

第29回女性部大会は、代議員定数9人のところ、参加代議員6人、委任状3枚にて大会は成立。参加者全員の拍手で承認されましたので、報告いたします。



「国連・CEDAWにて-日本の女性労働者に対する差別の是正運動に取り組んで-」学習会に参加して

11月6日、女性労働者の差別問題に取り組んでいる越堂静子さんを講師に招いての学習会に参加しました。越堂さんは1995年にワーキング・ウイメンズ・ネットワークを発足させました。住友メーカー裁判支援を契機に、女性の地位向上に取り組むようになり、「同一労働・同一賃金」の実現など女性差別是正をめざして活動しています。

今年7月23日、ニューヨーク国連・女性差別撤廃委員会（CEDAW）へ、総勢84名のNGOが参加、内ワーキング・ウイメンズ・ネットワークからは23名が参加しました。

日本政府からは政府代表として国会議員が参加しました。国連の各国委員から「日本政府は条約を法的拘束力のない宣言とみているのでは」「同一価値労働同一賃金（ILO100号条約）を国内法に入れる考えはあるか?」「働く女性が1700万人、そのうち70%が非正規とは間接差別であり、政府はどうしようと思っているのか。」と厳しい質問が続出したとのことです。国連での政府答弁は「憲法に違反するが、公序良俗には違反しない」と終始守りの姿勢だったそうです。

国連では条約の実施状況は定期的に審査され、日本の審査は6年ぶりとのことでしたが、前回の勧告で求められた選択的夫婦別姓の採用や、女性だけの再婚禁止期間・婚外子差別の是正のための民法改正はたなざらし状態。再三求められてきた男女の賃金格差の是正は、縮小傾向とはいえ正社員でも女性はなお男性の6割台。格差の大きさは先進国で最高レベルとのことでした。このお粗末な日本の状況を何とか変えたいと頑張っておられ、日夜奮闘している越堂さんの報告はとてもたくましく感心させられました。大学もいろいろ格差がある中で働いています。多くの元気をいただきました。（H）



楽しかった上野さんとの夕食懇談会

11月8日の夜、上野千鶴子さんをお迎えする組合女性部企画の「まほら」での夕食会に参加させていただきました。当日はおいしい食事とともに、上野先生と、ジェンダーはもとより介護に結婚に様々な話題で懇談することができ、大変充実したひと時でした。私の知っている上野先生は、ご自身でも「東京都からは危険人物扱い」と公言されているように、また、彼女の著書等からも伺い知れるように「過激な物言いの女性」です。しかし、お会いしてみると、気配りの細やかな、口調も優しい女性でもありました。上野先生ご自身も「最近「おひとりさまの老後」関連の講演が多く、「上野さんの話を聞くと癒される、なーんて言われてしまって…」と笑っていらっしゃいましたが、確かに、癒し系の側面も持ち合わせていらっしゃる、とても魅力的な方です。20時頃までの予定で聞いていた食事会も、次から次へと出てくる楽しい話に時を忘れ、終了は21時を回っていました。このような素敵な機会を与えて下さった組合女性部、そして労をお取りいただいた方々、本当にありがとうございました。

（学校教育学類 尾島恭子）



一時金でもボーナスがほしい!

20数年勤務を続けています。私は非常勤だから、パートだからとそんな気持ちで仕事をしている訳ではありません。仕事の厳しさは常勤職員と同じです、毎日6時間で終わらず、サービス残業も多々ある今日です。これまでの経験を積んだ実績を認めていただきたい。昇給もなく福利厚生面でも格差があり、ボーナスや退職金がないのはとても残念です。残業は自己申告なので、提出しにくいこともあり、サービス残業でも我慢しています……。また、パートなのに年休を消化できない人がほとんどで、夏休み休暇だけでなく、年休取得についても大学側からもっと進めてほしい。

また、組合ニュースでは人勧のカットした給与分は「全教職員を対象とするものや危機管理に」の財源に充てられると聞いています。働いた対価を削ってでもしないといけないことなのでしょうが、本来の給与の財源を「ハコモノ」に使うことは、とても働く意欲がなくなります。ぜひ、今回限りの一時金としてでも、パート職員へのボーナスにあててほしいです。（A）

